

SUPERBIKE  
EXtra, EXpert and EXtreme  
EXPRESS--

JSB 1000 QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW



津田拓也と渡辺一樹がコースレコードを更新!  
自己ベストを更新し3番手につけた高橋巧  
産みの苦しみを味わっている絶対王者・中須賀克行

2015年シーズンの全日本ロードレース選手権が今年も鈴鹿2&4レースで開幕した。金曜日の1本目は直前に降った雨のためウェットコンディションとなったが、2本目からドライとなり2分07秒045をマークした中須賀克行がトップタイムを記録。事前テストから好調な渡辺一樹と津田拓也が続き、結成されたばかりのヤマハのコースチームの藤田拓哉、野左根航汰と2分07秒台で続いていた。しかし、藤田はこの日、2度転倒。セッション終盤には、3コーナーで転倒し、左ひざを痛めてしまう。この影響で土曜日の公式予選はメディカルでストップがかかってしまい走ることができなかった。

公式予選は、Aグループ26台、Bグループ27台に分かれ、快晴となった鈴鹿サーキットでタイムアタックが繰り返された。まず行われたAグループのセッションでは、中盤過ぎにアタックに入った津田が中須賀の持つコースレコード(2分06秒226)を上回る2分06秒103をマークしトップタイム。その直後には渡辺も赤マークをつけ区間タイムで最速タイムをマークして行くが、コントロールラインを通過すると2分06秒181と津田に届かず2番手。Aグループでは、事前テストをリードした若い2人のライダーがコースレコードを上回る速さを見せた。Bグループでは、高橋巧が自己ベストとなる2分06秒494をマークし組トップにつけるものの、津田と渡辺のタイムには届かない。この結果、津田が開

幕戦のポールポジションを獲得。渡辺が2番手、高橋が3番手となり、フロントロウに並ぶ3台が2分06秒台をマークした。

「2分05秒台に入れたかったのですが調子は悪くないですし、レコードも更新できたので2分05秒台は鈴鹿8耐のときに取っておきます。みんな速いですが20周を走り切ったときにトップにいられるように頑張ります」と津田。

渡辺もコースレコードを更新しセカンドグリッドにつけた。「テストからいい調子なので、4輪が走って路面コンディションがどう変わるか警戒していました。どうしてもスキッドパッドのあとが視覚的に気になった部分がありましたが、それ程、影響はありませんでした。自分の走りができれば一番高いところの上がると思うのでリズムを崩さないようにしたいですね」とコメント。昨年速さを見せていたが、今年はライディングスタイルをコーナリングスピードを上げる方向に変更。走りの派手さは影を潜めたがラップタイムは上がってきているだけに、JSB1000クラスで初優勝を飾る可能性も十分あるだろう。

3番手につけた高橋は「金曜日はセットを外してしまい散々な結果だったので予選で自己ベストを更新できてホッとしています。マシンは昨年から全く変わっていませんが、タイムを上げることができたのでよかったです。レースは、ここ数年にないぐらいハイレベルな戦いになると思うので、開幕戦を勝って勢いを

つきたいですね。スタートが苦手なので、まずはそこからです」とコメント。マシン面では、ライバルに比べて進化はないがライダーが成長することでタイムを上げ勝負しようとしているのだ。

一方、フルモデルチェンジされたYZF-R1をライディングする中須賀克行は産みの苦しみを味わっている。タイムは、2分07秒043と2分07秒台を切れずに2列目4番手グリッドからスタートする。

「2台の仕様違いのマシンでセットアップをしながら予選を戦いましたが、まだまだマシンがまとまらない状態です。決勝日朝のウォームアップも使って現状でベストな状態でレースに臨もうと思っています。一列目の3台は、いいペースで走るとは思いますが、ニューR1のデビューウインを狙って最後までもがきますよ!」と中須賀。

事前テストをリードした津田と渡辺、昨年タイトルを争った中須賀と高橋を中心にレースは展開されそうだ。この4人に山口辰也、柳川明、中富伸一、野左根航汰、加賀山就臣といった面々がどこまでついていけるかによってトップ争いの行方が決まってくるだろう。誰が、このバトルを制するのか!?

予選上位記者会見の3人(中央/ポールポジション:津田拓也、左/予選2番手:渡辺一樹、右/予選3番手:高橋巧)



POLE POSITION  
INTERVIEW

2'06.103  
#12 津田 拓也  
ヨシムラスズキヘルアドバンス



「いろいろ苦労しながらチームとセットアップを進めてきましたが、だいぶマシンがまとまって来て公式予選を迎えることができました。ポールポジションを獲得することができましたが、予選よりもレースでの結果が重要です。ライバルも強力ですが、力強い走りを見せて表彰台の一番上上がるようにできるように全力を尽くします。今シーズンは、辻本(聡)さんがアドバイザーとして加わってくれたことでチームの機能力が上がっていると思います。ライバルの走りに適応して、最後に前でゴールできるようにしたいですね!」

ライブ・インタビュー・レースダイジェスト・車載動画...ますます充実するインターネット動画!!  
USTREAM YouTube MFJ CHANEL 詳しくはファンサイトで <http://superbike.jp/>



BS12ch TwellV(トゥエルビ)は全国無料放送!!  
「MFJ全日本ロードレース選手権第1戦鈴鹿2&4レース」をダイジェストでお届け。  
■放映日時 4月4日(土) 19:00~19:54 2015年はレース6日後の土曜夜7時より放映!!